

令和8年度までの目標	国語		算数・数学	
	自校A B層の割合	52%	自校A B層の割合	50.0%

目標達成に向けた取組			
3つの観点	教員の指導力向上	基礎学力の保障	学習習慣の確立
<b>学校全体の取組</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・OJT研修、ICT研修などを通して、指導力を向上する。</li> <li>・随時他教員の授業を参観し、授業後の話し合いを通して、指導力を向上する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東京ベーシックドリルテストを年3回実施する。</li> <li>・東京ベーシックドリルやドリルパークを週1回以上ステップアップの時間に実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話型、「話し方・聞き方名人」を掲示し、言語環境を整える。</li> <li>・家庭学習時間を知らせ、江戸川っ子study week!などを活用して課題に取り組む習慣を付けさせる。</li> <li>・読書バッグに本や国語辞典を入れるなどしていつでも手に取れるようにする。</li> </ul>
<b>特に支援が必要な児童・生徒への手立て</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校生活支援シートの作成を通して、目標や手立てを決めて対応する。</li> <li>・UDの視点を取り入れて学習環境を整える。</li> <li>・巡回指導教員と連携し、指導の工夫をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・放課後学習教室と連携を図り、「わかった」「できた」と実感できるようにする。</li> <li>・UDの視点を取り入れて学習環境を整える。</li> <li>・日本語指導・スクールカウンセラー・巡回指導教員等と連携を図り、児童理解を深め、指導に生かす。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成果を「見える化」して自己肯定感を高める。</li> <li>・ドリルパークなどで、下学年の課題やできそうな課題に取り組ませ、意欲をもたせる。</li> </ul>
<b>成果指標</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・OJT研修の実施、年10回以上</li> <li>・「誰一人取り残さないための学力向上アクションプラン」のPDCAによる実施70%以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童アンケートで「授業の内容はよく分かりますか」肯定的な回答の割合70%以上</li> <li>・東京ベーシックドリル7割通過率70%以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童アンケートで「毎日、家庭学習（各学年×10分+10分）することができていますか」の肯定的な解答の割合70%以上</li> <li>・児童アンケートで「本を読んだり、分からないことを調べたりすることは、好きですか。」の肯定的な回答の割合80%以上</li> </ul>